

＜ 今日の説教のポイント 出エジプト記 16章 1～12節 ＞
教えられること多く、かつ面白い個所。今日と来週 2 回で学ぶ。

1 (1-3) 学び取るに鈍い私たち。問題は美化されやすい記憶にあり？

今日の直前の個所で神様は民に水を与えて下さいました。「このことを心に留めてこれからの荒野の旅を下さい」と神様は示して下さいましたのに、今日の個所でもうそれができない人々。過去の記憶が美化された彼らの不平の言葉(3)には呆れます。民数記 11 章には、同じような出来事がまた起こり、神様が「吐き気を催すほど」肉を与えられ、疫病が発生する話が記されています。神様はむごいと思うより、むしろこちらの方が受け入れやすい気がします。しかし、今日の個所は、神様が民の不平を聞かれて打たれるのではなく、むしろ聞き入れ、与えて下さる話です。学び取るに鈍い私たちですが、どこかで神様の赦しに満ちた忍耐深さに気づき、方向転換しなければならないことを教えられます。

2 (4-12) 主イエスが教えられた「日用の糧の祈り」と重なる教え！

(1) 上に記したように、神様は民の不平を叱るのではなく、応えて下さいました(4-5)。しかし、ただ与えるのではなく、3つの大事なことを告げられました。1)毎日必要な分だけ集める、2)その指示に従うか試す、3)6日目は二倍集められる、です。

(2) ①は、主イエスが教えて下さった主の祈り (マタイ 6:9 以下) の中の「我らの日用の糧を、今日も与え給え」と同じですね。貯め込むことは神様を信じる思いを弱め、自分で立とうとする思いを強めます。いくら大きな倉庫を建てて蓄えても、明日、神様は私たちの命を取られるかもしれないのです (ルカ 12:13 以下)。神様が創造者で私たちは被造物、神様に与えられる物で生きているに過ぎないことを忘れるなということがここでも何度も指摘されています(7c, 8c, 12c)。

(3) ②は、「試す」は「テストする」よりむしろ「訓練する」の意味を考えた方がこの文脈にふさわしいでしょう。これからの旅のために大事な「自分で貯めて守るのでなく、日々神様を信じて歩む」訓練です。

(4) ③については来週詳しく考えますが、神様が求められる道に行く時には必要なものは必ず与えられることを別の仕方で教えられます。

(5) 「夕暮れに…朝に…」(6-7, 8, 12)と、繰り返し語られています。これからも、日々毎日の生活において働いて下さる神様なのだという事を思い巡らされます。今の私たちにとっても大事な教えだと思えます。